

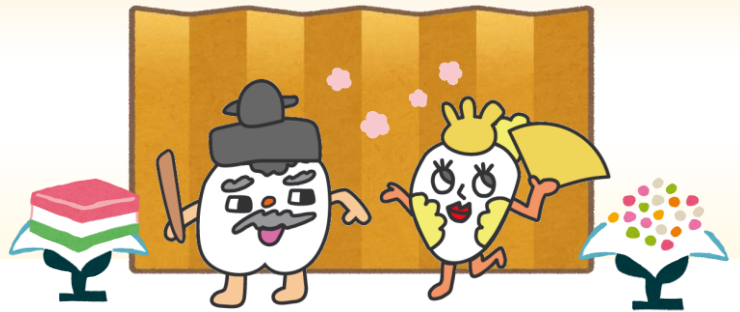
広島市歯科医師会だより



Hiroshima City Dental Association

3 月号

No.191 (R5.3.10)



目 次

行事報告

第6回支部長・副支部長会議	1 ページ
広島市歯科医療福祉対策協議会 役員会	2 ページ
広島市歯科医療福祉対策協議会 総会	3 ページ

支部だより

中区支部	4 ページ
東区支部	5 ページ
南区支部	7 ページ
西区支部	7 ページ

ちょっとイイ話

休日診療保険請求における留意事項について(総務部)	9 ページ
ファイバーポストとメタルコアによる支台築造した歯の生存率について(学術部)	9 ページ
3年ぶりに対面方式での新年互礼会開催!!(厚生部)	10 ページ
シーラント(予防充填、小窩裂溝充填)(地域歯科保健部)	11 ページ

各部からの報告

広島市連合地区地域保健対策協議会

糖尿病重症化予防対策検討委員会(地域歯科保健部)	12 ページ
広島市の地域包括ケアシステムの確立を目標とした医療・介護の取り組み(地域歯科保健部)	13 ページ
令和5年度定期健康診断の結果のお知らせの変更について	14 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部)	15 ページ
YouTube(広報部)	17 ページ
FMちゅーピー(広報部)	18 ページ

LINE公式アカウント 友達募集	18 ページ
------------------	--------

会長コラム『柔しく剛く』日本歯科医師会会長予備選挙の結果を受けて	19 ページ
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	20 ページ
2月定例理事会報告	21 ページ

行事報告

第6回支部長・副支部長会議

日時：2月15日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会 2階「大会議室」

標記の会が開催された。執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が出席した。始めに熊谷宏会長より「本日は第6回で令和4年度最後の支部長・副支部長会となりました。また、日本歯科医師会会長予備選挙投票はありがとうございました。本日も慎重審議のほどよろしく願いいたします。」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

報告

中区支部

- 12月21日 第5回支部長・副支部長会
- 1月7日 新年互礼会
- 1月13日 第15回江波圏域多職種連携会議小委員会
- 1月20日 中区在宅医療介護連携研修会
- 1月28日 第15回江波圏域多職種連携会議
- 2月8日 日本歯科医師会会長予備選挙投票

東区支部

- 12月21日 第5回支部長・副支部長会
- 1月7日 新年互礼会
- 1月27日 同行研修グループワーク
- 1月28日 第2回東区支部会新年会
- 2月8日 日本歯科医師会会長予備選挙投票立合

南区支部

- 12月15日 南区在宅医療・介護関係者5包括圏域研修会
- 12月17日 大州包括圏域在宅医療介護関係者研修会連絡会
- 12月21日 第5回支部長・副支部長会

- 1月7日 新年互礼会
- 1月20日 第2回南区常設オープンスペース運営協議会
- 2月2日 広島市歯科医師会南区支部学術講演会
- 2月8日 日本歯科医師会会長予備選挙投票

西区支部

- 12月21日 第5回支部長・副支部長会
- 1月7日 新年互礼会
- 1月14日 小児在宅医療講演会
- 1月26日 観音圏域医療と介護の連携会議
- 2月8日 日本歯科医師会会長予備選挙投票

執行部

- ・令和4年10月、11月、12月、令和5年1月分の休日診療保険請求における留意事項について
- ・日本歯科医師会会長予備選挙について
- ・その他

協議

中区

- ・広島県原油価格・物価高騰に係る医療事業者補助金について

広島市歯科医療福祉対策協議会 役員会

日時：2月18日(土)午後4時30分

場所：県歯会館 6階「601・602会議室」

標記の会が開催された。

新型コロナウイルス感染予防対策としてマスク着用の上、会場の換気を行いながら行った。

能美和基専務理事の開会の辞、熊谷宏会長の挨拶の後、報告事項として令和4年度事業中間報告、令和4年度広島市休日等歯科救急医療事業、在宅訪問歯科健診・診療事業、妊婦歯科健康診査事業、節目年齢歯科健康診査事業の中間報告が各担当理事からあり、そのほかの報告として広島市医療安全推進協議会より広島市域での医療相談・苦情相談について報告があった。

議事事項として、第1号議案から第8号議案までが説明され、広島市歯科医療福祉対策協議会総会への上程が承認された。

そのほか協議事項はなかったが、情報共有として学校歯科健診について、広島市学校保健会専門委員会歯科保健対策委員会による学校健診データの電子化に伴い健診表、健診結果のお知らせの内容の変更について報告があった。

最後に澤村豊副会長の閉会の辞により終了した。

役員			委員	
職名	氏名	支部	氏名	支部
会長	熊谷 宏	広島市	波田 佳範	広島市
副会長	松本 浩一	安 佐	香川 次郎	〃
	栗栖 文夫	佐 伯	宮村 健一	〃
	澤村 豊	安 芸	前島真紀子	〃
	瓜生 賢	広島市	河原 利哉	〃
専務理事 理事	能美 和基	〃	内田 雄士	〃
	若林 大輔	〃	田中 信吾	〃
	森本 慎樹	〃	佐久間光俊	〃
	藤田 友昭	〃	前田 羊一	〃
	水内 裕之	〃	中川 誠	〃
	石田 一輝	〃	森川 英彦	〃
	横引 昌樹	安 佐	豊田 育星	〃
	桑原 一通	〃	武田 泰三	安 佐
	加島 弘之	〃	瀬川 和司	〃
	上田 浩大	佐 伯	山脇 典士	〃
	藤井 宗仁	〃	川添 祐亮	〃
	兼池 宏治	〃	大原 将史	佐 伯
	梶川 正文	安 芸	河野 敦志	〃
	山田 純	〃	藤田 裕樹	〃
	野村 俊夫	〃	半澤 泰紀	〃
	監事	椿田 直也	広島市	児玉 正治
野村 昌利		安 芸	高山 智行	〃
			藤井 良典	〃
		新谷 宏規	〃	



(左)挨拶をする熊谷宏会長 (右)役員会の様子

広島市歯科医療福祉対策協議会 総会

日時：2月18日(土)午後6時

場所：県歯会館 2階「ハーモニーホール」

標記の会が広島市域4地区歯科医師会選出の委員出席のもと開催された。新型コロナウイルス感染予防対策としてマスク着用の上、会場の換気を行いながら行った。能美和基専務理事による開会の辞に続き、熊谷宏会長の挨拶の後、議長及び副議長は、議長に河原利哉氏(広島市)、副議長に河野敦志氏(佐伯)が選出され会が進行、報告事項として

- (1) 令和4年事業中間報告
- (2) 令和4年度広島市休日等歯科救急医療事業中間報告
- (3) 令和4年度在宅訪問歯科健診・診療事業中間報告
- (4) 令和4年度妊婦歯科健康診査事業中間報告
- (5) 令和4年度節目年齢歯科健康診査事業中間報告
- (6) その他

が各担当理事からあり、そのほかの報告として、広島市医療安全推進協議会に寄せられた広島市域での医療相談・苦情相談について報告があった。

議事事項として、

- 第1号議案 令和5年度広島市休日等歯科救急医療事業 事業計画(案)について承認を求める件
- 第2号議案 令和5年度広島市休日等歯科救急医療事業 収支予算(案)について承認を求める件
- 第3号議案 令和5年度在宅訪問歯科健診・診療事業 事業計画(案)について承認を求める件
- 第4号議案 令和5年度在宅訪問歯科健診・診療事業 収支予算(案)について承認を求める件
- 第5号議案 令和5年度妊婦歯科健康診査事業 事業計画(案)について承認を求める件
- 第6号議案 令和5年度妊婦歯科健康診査事業 収支予算(案)について承認を求める件
- 第7号議案 令和5年度節目年齢歯科健康診査事業 事業計画(案)について承認を求める件
- 第8号議案 令和5年度節目年齢歯科健康診査事業 収支予算(案)について承認を求める件
- 第9号議案 その他の案件

が説明され、すべて原案通り承認可決された。

最後に澤村豊副会長の閉会の挨拶で総会を終了した。

協議事項

特になし



(左) 挨拶をする熊谷宏会長 (右) 総会の様子

支部だより

中区支部

広島市中保健センター主催 歯周病予防教室

日時：1月18日(水)午後1時30分

場所：中区地域福祉センター 5階

広島市中保健センター主催の歯周病予防教室が開催され、光山素夫地域歯科保健部委員が「歯周病とは？お口だけではない意外な影響」と題して地域の住民17名に対して講演を行った。

講演では、まず正常な歯肉は歯と密着しており、外部からの細菌感染を防ぐ役割をしているが、歯周病になるとプラークにより歯肉の炎症が発症し、細菌が感染防御機能を突破し、歯周ポケット内の付着を破壊することで進行することを説明した。

また、そうした状況にしないために日々のブラッシングでプラークを除去すること、プラークが石灰化した歯石を歯科医院で除去することの必要性を解説した。また、歯周ポケットの深い部位に付着した歯石は局所の外科処置を伴うこともあるため、かかりつけの歯科でよく相談が必要であることを説明した。

次に口腔内以外への影響として、歯周病による慢性炎症がインスリンの働きを低下させること、歯が抜けて放置しておくとう柔らかい炭水化物への偏食傾向となり、糖尿病の遠因になり得ることを説明した。

最後に、残念ながら抜歯せざるをえない状況になったとしても義歯、ブリッジ、インプラント等で機能回復が可能であることにも触れ、そうならないために定期健診の重要性も伝えた。

講演後には参加者から認知症とも関係するのか？歯科医院にはどれぐらいの頻度で通院するのがよいか？等の活発な質問があり、関心の高さがうかがえた。

今後も地域歯科保健部では今回のような市民講座などで正確な知識を噛み砕いて伝える取り組みを行っており、今後も市民へ健康に寄与する発信を行っていく所存である。

第15回 江波圏域多職種連携会議

日時：1月28日(土)午後4時

場所：オンライン開催(Zoom)

標記の会が開催された。

会議の冒頭、江波圏域在宅医療推進リーダーである、山本眞一舟入山本内科クリニック院長より開会挨拶が行われ、講師に岩佐陽介中区役所市民部地域起こし推進課主事をお迎えし、「中区で起こる自然災害について」の演題で講演が行われた。

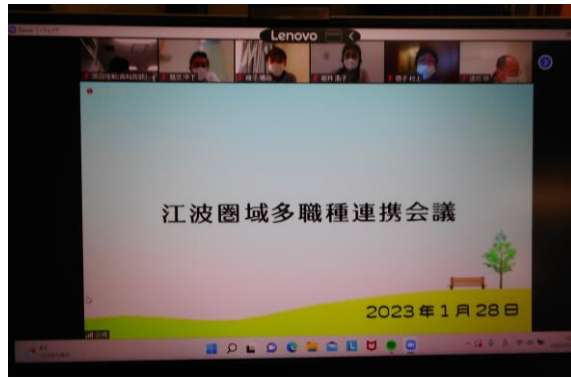
講演内容は、具体的に中区で起こりうる自然災害の可能性について語られ、この中区地域全般においては「大雨による洪水」「台風による高潮」が主に考えられるとのことであった。そして江波圏域においては、江波山、江波皿山、丸子山周辺で、大雨による土砂災害の危険性が示された。さらに、近未来において予想されている

「南海トラフ」による、大地震での津波発生にまで言及された。

その後、グループワークへと移行し、「災害に備えてあなたの職種としてできることは何でしょうか」という演題で議論が行われた。そして、グループ発表へと移行し、各グループ様々な意見が出された。

閉会挨拶は、江波圏域多職種連携会議小委員会メンバーである、中区支部の長谷川聰氏によって行われ、会議を終了した。

なおこの会議には、中区支部より波田佳範支部長、長谷川聰氏、前田羊一氏、光山素夫氏、森田薫氏、若林大輔氏が出務した。



会議の様子

東区支部

令和4年度 東区在宅医療介護連携推進事業「同行研修グループワーク」

日時：1月27日(金)午後7時

場所：東区総合福祉センター 3階「大会議室」

東区在宅医療介護連携推進事業として例年は「同行研修」が行われていたところ、新型コロナウイルス感染の危険性を考慮し、患者宅や施設への同行研修は現在中止となっていた。地域包括ケアの推進並びに在宅看取りの推進において重要な役割を担う、訪問看護師、訪問介護員、介護支援専門員の連携強化の一環として、標記の会が開催され、医師・歯科医師・薬剤師・看護師・介護支援専門員・理学療法士・介護職・包括担当者等が約35名参加した。

金谷雄生広島市東区地対協会長による挨拶から始まり、「在宅医療における多職種連携」と題し、小西太ほ一むけあクリニック理事長による講義が行われた。多職種連携のチームメンバー全員が患者さんの希望に添った同じ方向を向いた上で、それぞれの専門性を発揮して力を合わせる事が大切であると解説された。

その後、各包括単位でのグループワークが行われた。各人の最近の在宅医療・介護への関わり状況について、多職種連携に必要なと思われること、同行研修に参加した

と仮定して疑問に思っていることなどのテーマに沿って、各グループで活発に協議した。多職種において顔の見える関係を築き、メール等のツールを使って密にコミュニケーションを取ることがよりよい連携につながると改めて感じた。

住吉秀隆東区医師会副会長の閉会の辞にて閉会となった。

なお、東区支部からは宮村健一支部長、前島真紀子副支部長が参加した。



研修会の様子

令和4年度 第2回 東区支部会および新年会

日時：1月28日(土)午後7時

場所：ヒルトン広島 鉄板焼「渾」(日本料理「泉水」内)

標記の会が開催され、24名の会員が参加した。

宮村健一支部長の司会進行のもと、会計報告、行事報告や休日歯科救急医療施設当番の予定などについての説明と協力の依頼が行われた。また協議事項として令和6

年12月開催予定の東区市民公開講座が本会東区支部の主管になることや、年末歯科当番医輪番制について意見交換がなされた。

その後、本会より熊谷宏会長、瓜生賢副会長および能美和基専務理事、宮内美和広島口腔保健センター長、東区支部より推薦の緒方直之広島県議会議員、山路英男広島市議会議員を来賓としてお迎えし新年会が開催された。熊谷宏会長より挨拶を賜った後、古宅康久先生による乾

杯で開宴となった。新年にふさわしい料理に舌鼓を打ちつつ、来賓、会員間の活発な情報交換と親睦を深めて盛況のうちに進行した。午後9時半に新年会終了、引き続き17名が同じフロアにあるバー&ラウンジ「ZATTA」にて夜が更けるのも忘れて楽しい時間を過ごした。



(左) 宮村健一支部長挨拶の様子 (右) 新年会の様子

広島市東区地域保健対策協議会「医療安全研修会」

日時：2月20日(月)午後7時

場所：東区総合福祉センター 3階「大会議室」

広島市東区地域保健対策協議会、広島市東区医師会及び太田川病院の共催にて標記の会が会場、リモートのハイブリッド開催で行われた。川上洋介広島市東区医師会理事(東区地対協理事)司会、満田一博広島市東区医師会理事(東区地対協常任理事・太田川病院理事)座長のもと、金谷雄生広島市東区医師会会長(東区地対協会会長)の挨拶で始まった。

その後、「危うい成功を見抜き、ベストパフォーマンスを発揮できる組織になるために」と題して伊藤秀樹広島大学病院医療安全管理部教授の講演が行われた。

車の生産を考えた時、プロセスが管理されていると、高い再現性を持って質の高い業務を行うことが可能でマニュアルが重要である。これを直線系モデルとすると、医療は複雑系モデルと考えられる。プロセスの管理だけでは不十分で、医療の状況は刻々と変化するためこれに応じた柔軟な調整、適応が必要だからである。複雑系モデルを成功させる要因としてルール(規則)をもとにした、トップダウン的な制御は不要でむしろ、相互関係をリアルタイムに調整するボトムアップ的な戦略が重要となる。また、インシデントレポートに代表される“上手くいかなかったこと”に着目する Safety-I (分析的アプローチ)も必要だが、“上手くいっていること”に着目する Safety-II (統合的アプローチ)も取り入れる事が重要にな

る。後者の具体的な分析方法として FRAM(機能共鳴分析手法)がある。安全分析の手法で社会技術システムにおいて、普段どのように物事がうまく行われ、時としてうまくいなくなるのかを分析する手法で実際に行われる活動(機能)が互いにどのように作用しているか関係性を明らかにしどのように結びついて大きな変動となり、想定外の結果を引き起こしているのかを捉えることが可能となる。広島大学病院の患者移送支援チームではこれらを実践し可視化することで、業務の効率化を図り適応キャパシティの拡張と患者サービスに努めているとのことであった。

質疑応答の後、住吉秀隆広島市東区医師会副会長(東区地対協副会長)が閉会の辞を述べ閉会した。なお、東区支部から、宮村健一支部長、岩井敏之氏、木村太言氏が Web にて参加した。



研修会の様子

令和4年度 南区支部学術講演会

日時：2月2日(木)午後7時30分

場所：県立広島病院中央棟 2階「講堂」

標記の会が本会南区支部と県立広島病院の共催で開催され、医師や歯科医師、歯科衛生士等約80名が参加した。

神田拓県立広島病院歯科・口腔外科部長の司会で始まり、板本敏行県立広島病院院長より挨拶の後、延原浩県立広島病院歯科・口腔外科部長より「周術期口腔機能管理による術後合併症の予防効果と患者指導のポイント」の演題で講演が行われた。

今でこそ当たり前になった周術期口腔機能管理だが、以前は見向きもされなかったものをここまで世に広めた延原先生の功績は非常に大きい。

今回の講演内容も先生が今までに行った研究の成果や実績をふんだんに踏まえ、学術的にも臨床的にもしっかりとエビデンスに裏付けられたもので、適切な周術期の口腔ケアはSSI(Surgical Site Infection：手術部位感染)やPOI(PostOperative Ileus：術後腸管麻痺)の抑制につながることを強調された。特にSSIが発生すると予後の不良はもちろん、在院日数が約3週間延長し、医療

費も約86万円増加するとのデータもあり、SSI予防対策が高度急性期医療における最重要課題の一つであると位置づけられた。

また、周術期の口腔ケアは特に消化器系の癌の手術に有効で、大腸癌では1/2に、膵癌では1/3にSSIが減少したとのデータも示された。

先生は今年定年を迎えられるが、これからも周術期口腔ケアの普及に奮闘されるとのこと。今後も延原先生のご活躍に期待したい。



講演会の様子

広島市井口台・井口地域包括支援センター主催「いきいき健口長寿講座」

日時：1月19日(木)午後1時30分

場所：「井口台集会所」

標記の講座が、広島市井口台・井口地域包括支援センター主催で開催され、豊田育星地域歯科保健部委員が、「口腔ケアで介護予防～いつまでもおいしく食べるために～」と題して地域の高齢者19名に対して講演を行った。

講演では、まずコロナウイルス感染症の発症機序の説明後、口腔ケアがいかに新型コロナウイルス感染症の発症や重症化リスクを軽減させるかのデータを示し、その重要性について説明した。また、口腔外バキュームなどの歯科医院で行っている様々な感染予防対策を紹介し、歯科を受診することの安全性を強調した。

次に、フレイルの入り口となるオーラルフレイルはコロナ禍のマスク生活により悪化する可能性があることを説明し、その予防法、改善法について、しっかり咬める歯の数を確保すること、舌圧のトレーニングが重要であることを伝え、舌の体操やペコぱんだを用いたトレーニング方法について解説した。また、すでに残存歯が少なくても義歯やブリッジで歯の欠損を補うことで良好な結果を得ることも説明した。

最後に、短期集中通所口腔ケアサービスを紹介し、かかりつけの歯科をもつことで、オーラルフレイルの早期発見、早期介入することで健康寿命の延伸につながることを伝え、講演を終了した。

講演後には、歯の大事さを改めて知った、舌圧を鍛えることの重要性を知ったとの声も聞かれ、参加者の口腔に対する意識が向上したことを感じた。地域歯科保健部ではこのような活動を通じて、これからも地域住民に口腔ケアの重要性を啓発していく所存である。



講座の様子

令和4年度 観音圏域 医療と介護の連携会議

日時：1月26日(木)午後7時

場所：生協けんこうプラザ 5階「会議室」

標記の会が観音地域包括支援センターの主催で生協けんこうプラザ会議室とリモート(Zoom)のハイブリッドで開催された。医師、歯科医師、薬剤師、介護従事者、民生委員等 52 名が出席し、活発な意見交換が行われた。

会議では平林一郎西区医師会会長の挨拶に始まり、石田哲西区医師会理事が「在宅医療と看取り」と題し講演を行った。講演では、アドバンスドケアプランニング(ACP)と緩和ケア、在宅での看取りについて説明があった。近年ではより早期からの緩和ケアが重視されるようになり、病状の変化に備えて治療の選択や対応などをあらかじめ話し合う ACP の重要性が普及しつつある。在宅の看取りでは地域の資源を知り、地域包括支援センターを活用、地域とのつながりを大切に、一人で抱え込まないことが重要と話された。

また、実際の在宅での看取りの事例が提示され、病状の進行により本人と家族の移り変わる気持ちを尊重しつつ在宅医療を行うことの大変さや「西区在宅あんしん連携システム(つながるんじゃけえ)」を利用した主治医、訪問看護師、訪問薬剤師、ケアマネジャー、ヘルパーの情報共有、病院との連携の重要性が示された。

その後、グループワークが行われ、「在宅看取りをすすめる上で支援者に必要な心構え～私が思う在宅看取り

イメージ～」と題して、在宅での看取りのイメージや経験談、事例の感想を話し合った。

最後に、講演を行った石田氏が在宅の看取りにはお互いを尊重し、つながり合う事が大事で西区地域包括ケアシステムをしっかりと構築することが重要だと話した。行廣律江西区厚生部地域支えあい課地域支援担当課長の閉会の辞で会議は終了した。

今後も ACP の普及、在宅の看取りに歯科もどのように関わられるのか、多職種連携会議での意見交換を通じて考えていきたい。

なお、西区支部からは田中信吾支部長、岡田浩幸氏が参加した。



会議の様子

総務部

休日診療保険請求における留意事項について

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にさせていただけたら幸いです。

- ・CAD/CAM 冠脱離再セットを行ったケースで、内面処理加算 1 の算定があるも診療録に処理内容の記載がないものがありました。内面処理加算 1 については、アルミナ・サンドブラスト処理及びシランカップリング処理等が必須となりますので、休診でも用意しておりますので装着前に上記処理を行い、処理内容をカルテに記載していただくようお願い致します。
- ・来院患者の多くは初診であり、月の実日数 1 日ですが、中には連続して来院する患者もおられます。複数日の受診がある患者に対しては、前回の治療内容・カルテ記載等を十分把握した上で行ってください。例えば、同月に同一部位、同一処置(CR 等)が算定されているケースが散見されます。

(森本 慎樹)

学術部

ファイバーポストとメタルコアによる支台築造した歯の生存率について

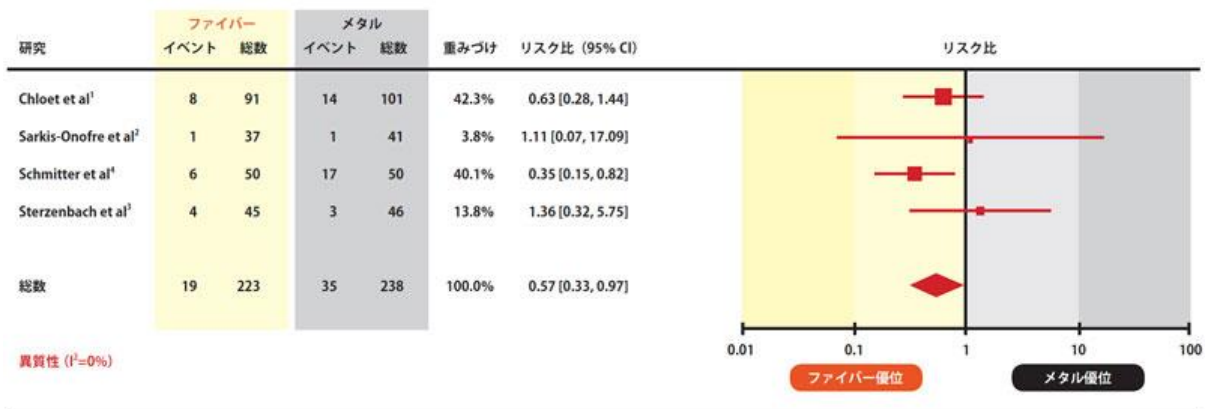
この 10 年において日常臨床で大きく変わったことの 1 つに支台築造があげられます。

金銀パラジウム合金の高騰とファイバーポスト保険適用に後押しされ、既製メタルポストピンや鋳造メタルポストは使用される頻度は減少し、ファイバーポストを用いた支台築造が多く選択されるようになりました。一般的にメタルコアは歯に縦破折を引き起こしやすいのに対し、ファイバーポストは柔軟性を有することから歯の縦破折を起こしにくいと考えられますが、これらの根拠となるデータは、実験モデルを用いた接着試験・応力試験のものや、後ろ向き観察研究で確認できます。ファイバーポストが広く臨床応用されはじめて 10 年以上が経過し、近年ランダム化比較試験もいくつか報告されるようになり、この度興味深いシステマティックレビューを読みましたのでその内容を簡単にご紹介します。

今回ご紹介する論文は Evaluation of fiber posts vs metal posts for restoring severely damaged endodontically treated teeth というタイトルのシステマティックレビューで、ファイバーポストとメタルコアを装着した歯の生存率(何年で抜歯になったか)についてまとめてありました。以下に結果を要約したものを載せます。

結論

残存歯質が 2 壁以下の失活歯に支台築造を行った場合、ファイバーポストを使用した時の方がメタルポストを使用した時と比較して 3~7 年の観察期間において高い生存率が示されました。



この論文を読んでみて

結果を要約すると「メタルポストを用いると3~7年で100本中15本の歯が抜歯になるのに対し、ファイバーポストを用いると100本中9本が抜歯になる」ということです。

このデータは、ファイバーポスト使用を推し進める根拠として十分ではないでしょうか。

個人的には残存している壁が少なかったり、歯肉縁下まで欠損が及ぶ症例に対してはその後の脱離の可能性を考慮してメタルポストを選択する事があるのですが、歯の寿命という観点からファイバーポストの選択も考慮に入れようと思いました。

しかし、生存率を上げるためには材質も重要ですが、健康な歯周環境を整えることや、適切な手技や接着技術が不可欠であるということも言うまでもありません。

ファイバーポストが保険適用となり約10年が経ち今後も様々な支台築造が考案されると思いますが、今一度材料選択について考えてみてはいかがでしょうか。

原著論文

論文名：Evaluation of fiber posts vs metal posts for restoring severely damaged endodontically treated teeth: a systematic review and meta-analysis.

執筆者：Wang Xら

掲載誌：Quintessence Int. 2019;50(1):8-20.

(楠橋 由規)

厚生部

3年ぶりに対面方式での新年互礼会開催！！

日時：1月7日(土)午後5時

場所：県歯会館 2階「ハーモニーホール」

新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年以降は中止またはオンラインでの開催となっていた新年互礼会が3年ぶりに開催された。

能美和基専務理事の司会の下開会され、熊谷宏会長の新年の挨拶に続き、山崎健次広島県歯科医師会会長、松井一寛広島市長から祝辞を頂戴した。その後、来賓の岩崎学広島市健康福祉局保健医療担当局長、宮城昌治広島市健康福祉局保健部医務監、目見田正規広島県歯科技工士会広島支部長、三好早苗広島県歯科衛生士会会長、中田正子広島県歯科衛生士会広島地区会長とともに新入会員5人の先生方が(株)小泉本店の御幸広島特撰の樽で鏡開きが行われ、本年の健勝を祈願した。年男である荒川信介広島県歯科医師会顧問による乾杯の発声を行い、祝宴も開始となった

岸田文雄内閣総理大臣、湯崎英彦広島県知事から頂戴した祝電も披露され、歓談中もマスク会食をしながら会員同士が直接顔を合わせる五感を通じた心で寄り添える交流を行えた。

当日は78名の会員の参加となったが、終始盛り上がりは途絶えることなく瓜生賢副会長による閉会の辞で盛会のうちに終了となった。

帰り際には広島市歯科医師会のロゴ入り饅頭も参加者限定で配布され最後まで充実した会となった。

本年も会員の先生方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、コロナウイルスの収束、そして来年こそマスクなしでまた笑顔で集まれることを切に願う。



新入会員の挨拶



歓談中の一コマ

(柄 慎太郎)

~厚生部からのお知らせ~

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより1ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

シーラント(予防填塞、小窩裂溝填塞)

今回は日常臨床でよく行われるシーラントについてのお話です。シーラントは、臼歯の裂溝を物理的に封鎖したり、シーラント材の中に含まれるフッ化物により再石灰化作用を促進したりするむし歯予防法です。

シーラントによるむし歯予防が今日のように効果をあげた背景には、シーラントの材質の改善が大きく寄与しています。臼歯の溝をレジンで物理的に封鎖することで口腔内の環境から遮断する方法、ガラスアイオノマーセメントで臼歯の溝を物理的に封鎖することに加え、シーラント材の中に含まれるフッ化物が再石灰化作用を促進する方法などがあります。最近ではレジンとガラスアイオノマー両方の性質を併せ持ったシーラント材が多く普及しています。

シーラントのむし歯予防効果に関しては、多くの調査があり、4年以上で約60%のむし歯予防効果が認められ[1]、特にフッ化物応用との併用によりむし歯予防効果はさらに増加すると報告されています。

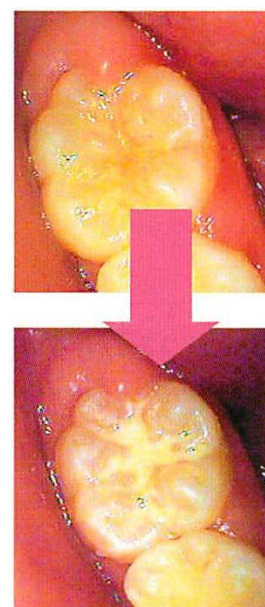
シーラントの危険性に関しては、一部のレジン系シーラント材に含まれるビスフェノールAの環境ホルモン様作用の危険性が1996年に指摘されました。しかし、その後の研究によって、当時危惧されたような危険性は現在では調べうる限りないとされています。

シーラントをどの歯に対して行うかは、カリエスリスクから検討する必要があります。全ての歯に行うよりも、カリエスリスクの高い歯にのみ適応すると、シーラントを行う数を絞り込め、高いむし歯予防効果も維持できることから経済的にも合理的な方法と考えられるからです。カリエスリスクについては、過去のむし歯経験・生活習慣・唾液の性状・口腔細菌の状況・裂溝の形態(乳臼歯や第一大臼歯、上顎側切歯の口蓋面・盲孔など)・萌出状況などから判断します。シーラントの使用方法については様々な材料が発売されていますので、製品に付属の説明書をよく確認して行うことで最大の予防効果が発揮できます。

また、シーラントは永久的にその効果が続くものではなく、取れたり欠けたりした場合には、再度行うことで高い予防効果を維持できます。そのため、歯科医院での定期的なチェックが必要です。

地域歯科保健活動としてフッ化物応用とシーラントを組み合わせることで大きなむし歯予防成果を上げている地域もあります[2][3]。保育園や幼稚園、学校でフッ化物洗口を実施するとともに、カリエスリスクの高い歯を持っている子どもには予防勧奨をし、地域の歯科医療機関でシーラントを実施してもらうことを系統的に行っています。

最後に、学校歯科健康診断ではシーラントが行われている歯は健全歯(✓)として扱います。また、保険診療においてのシーラントは乳歯または幼若永久歯の小窩裂溝に生じた初期う蝕に対して実施するもので、むし歯予防ではなく初期う蝕に対する治療ですので併せてご注意ください。



参考文献

厚生労働省 E-ヘルスネット

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/teeth/h-02-011.html>

1.Llodra JC, et al.

Factors influencing the effectiveness of sealants--a meta-analysis.

Community Dent Oral Epidemiol. 1993; 21(5): 261-268.

2.石川玲子 他.

岩室村におけるシーラント事業の取り組み. 第38回新潟県小児保健研究会講演集. 1999; 8-9.

3.葭原明弘 他.

公診連携を目指した8020育成事業の評価.

口腔衛生会誌 2005; 55(2): 113-117.

(岡田 浩幸)

各部からの報告

地域歯科保健部

広島市連合地区地域保健対策協議会 糖尿病重症化予防対策検討委員会

日時：2月7日(火)午後7時

場所：広島医師会館 3階「健康教育室」

糖尿病の予防には、その病態に応じて多くの専門職の協働が重要とされており、特にかかりつけ医による加療中の患者が、糖尿病による合併症の発症に至らないように、栄養・服薬・口腔・運動など様々な専門職が連携して継続的に支援することが求められることから、広島市連合地対協内に本委員会が設置され、初の会議が開催された。委員は糖尿病専門医や学識経験者だけでなく、糖尿病患者を診察しているが糖尿病専門医ではない医師(非糖尿病専門医)に加え、歯科医師、薬剤師、看護師、栄養士、健康運動指導士、広島市健康福祉局保健部職員で構成された。

まず、本市健康づくり計画「元気じゃけんひろしま21(第2次)」の中間評価や国保データベースシステム等において、①全国及び広島県と比較して、男女とも血糖の有所見者が多い、②糖尿病有病者の割合が増加している、③血糖値を適正に管理できていない者の割合が横ばいであるといった現状が説明された。

続いて各団体における糖尿病患者に係るこれまでの取り組みについて報告があり、本会からは、一昨年に県歯会で行った会員に対する糖尿病患者の治療に関するアン

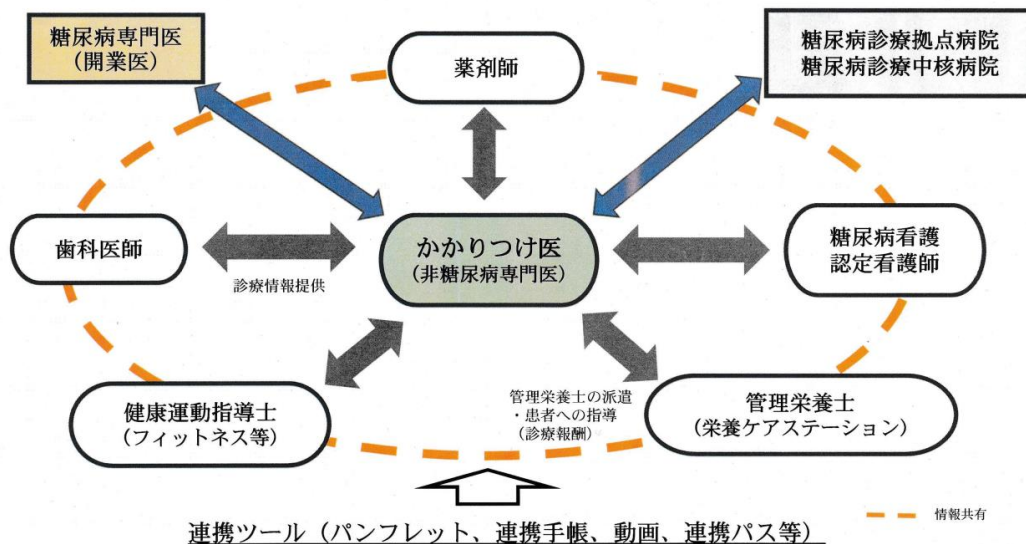
ケート結果から、現状では医科歯科連携がほとんど行われていないことや、市民に対しては講演会やおくちの健康展等のイベントを通じて普及啓発活動を行っていること、節目年齢歯科健診の受診はがきで歯周病と糖尿病の関連についてふれていること等を紹介した。

本委員会が対象とする糖尿病患者は、予備群～軽度で、主に地域のかかりつけ医で加療している者を対象とするが、すでに糖尿病が重症化して専門医を受診している者に比べて糖尿病治療に対するモチベーションが低く、歯科や眼科等の受診につなげることが難しいとの意見があり、そのため最初の健康教育が重要であり、パンフレット、連携手帳、動画等の連携ツールを今後どのように作成していくかを次回の議題とすることになった。

日頃から歯周病と糖尿病の関連について医科歯科連携を推進しているが、実際にはほとんど行われていないのが現状であり、今回このような多職種連携に関する委員会が広島市で初めて開催されたことは大変意義があり、本会として今後も継続的に関わっていく所存である。

なお、本会からは若林大輔地域歯科保健部理事が参加した。

かかりつけ医と多職種の地域連携に係るイメージ(たたき台)



広島市の地域包括ケアシステムの確立を目標とした医療・介護の取り組み

超高齢社会を迎えるにあたり、地域包括ケアシステムの充実が必要となる中、質の高い医療・介護提供体制の確保が必要です。

広島市では、老人福祉計画・介護保険事業計画として「第8期広島市高齢者施策推進プラン」を策定し、在宅医療の充実と在宅医療・介護連携の推進を目指しています。

背景として、高齢者人口が増加する中、複数の慢性疾患を抱える患者・介護を受けながら日常生活を営む患者が増え、「治し・支える医療」が必要とされていることがあります。

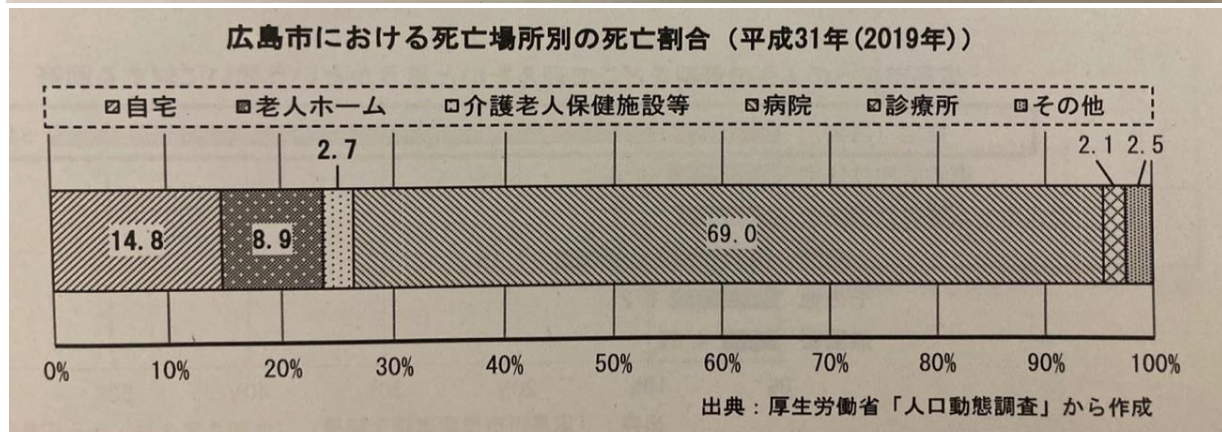
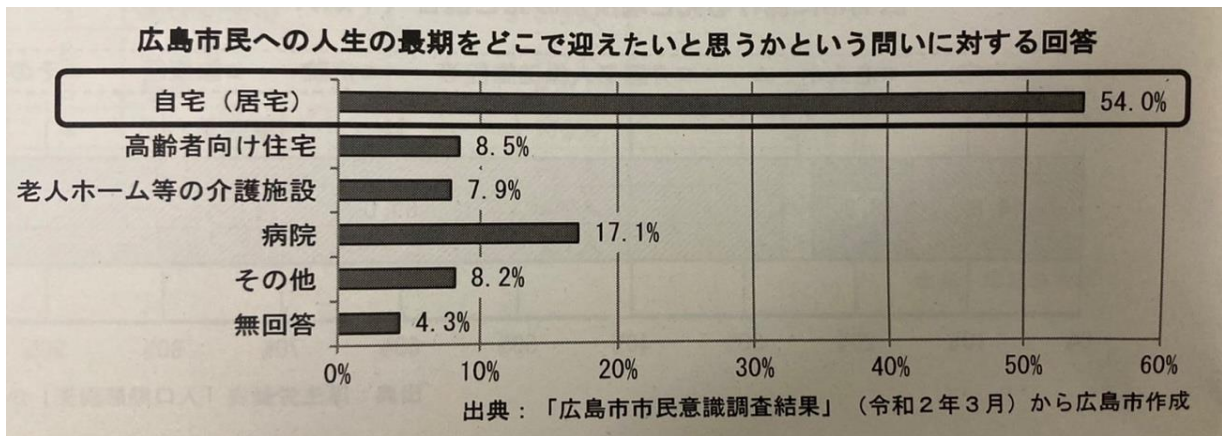
では、「住み慣れたまちで最後まで暮らし続けること」の広島市のデータを一部紹介します。広島市民の54%は自宅で最期を迎えたいと望む中、現状自宅で最期を迎える方は、26.4%となっており、希望・ニーズと現実のギャップが生じています。(下記添付データ参照)

そのため、広島市として

- ・退院支援から看取りまで、多職種による切れ目ない医療・介護サービスが受けられる仕組みの構築
- ・医療・介護を受ける側である高齢者、提供する側である従事者が、ともに高い満足度・充足感が得られるような仕組みを構築すること
- ・高齢者が自分らしい人生を送ることができ、望む場所での療養、看取りが叶うことを目指しています。

歯科分野においては、令和2年12月1日時点で広島市680歯科診療所の中、在宅療養支援診療所数は98か所であり、診療提供体制の拡充を求められています。また、多職種連携による摂食嚥下・口腔ケア対応力向上に関しても施策の重点項目として取り組まれており市民向けや専門職向けのリーフレット作成等が行われています。その他、様々な場面で歯科医師として地域包括ケアシステムに関わっていく必要がありますが、次回以降のちょっといい話で紹介させていただきます。

今回は、摂食嚥下・口腔ケア対応力向上とは別に広島市が施策の重点項目として取り組んでいますが、歯科医師の中で認知度が低い「ACP」について紹介します。



令和5年度定期健康診断の結果のお知らせの変更について

広島市教育委員会より下記の通り周知依頼が届きました(抜粋)。小・中学校のみの対象となりますが、下記「定期健康診断(歯科)結果のお知らせ」と併せてご確認ください。**昨年度までのものと異なり、新たに「下記の○印のことについて注意がありましたので、かかりつけ歯科医に相談してください。」という欄が設けられました。ご対応の際には丁寧な説明を徹底するようご協力のほどよろしくお願いいたします。**

各医療機関各位

学校教育部健康教育課
学校安全対策担当課長

【広島市独自で変更する主な内容】

	検診・検査	変更内容	関係資料
1	歯科検診	○令和5年度より小・中学校の健康診断情報を電子化(校務支援システムに保健管理に係る機能を導入し、健康診断結果を一括電子で管理)するため、広島市立学校で統一使用していた結果通知の様式(各医療機関・保護者が記入する様式)を、 <u>小・中学校に限って</u> 、変更する。 ※幼稚園・高等学校・中等教育学校・特別支援学校については、令和5年度に健康診断情報の電子化は行わないので、従来の結果通知を使用する。	資料7 定期健康診断(歯科)結果のお知らせ

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

保護者様

年 組 番 氏名

広島市○○小学校長



定期健康診断(歯科)結果のお知らせ

健康診断(歯科)の結果、下記の○印のとおりでしたのでお知らせいたします。

	健康診断の時には特に問題は見つかりませんでした。これからこの状態を保つために食生活や口腔清掃(歯ブラシとデンタルフロス)に注意すると共に、定期的にかかりつけ歯科医のチェックを受けるようにしましょう。
--	---

下記の○印のことについて注意がありましたので、かかりつけ歯科医に相談してください。

該当○印	注意事項	説明
	歯列・咬合・顎関節の異常	歯並びの状態・かみ合わせ・顎関節の状態に軽度の異常があり、定期的な観察が必要です。※矯正治療中の方もこの項目に含まれます。
	歯垢付着	歯みがきが不十分です。歯の表面に細菌のかたまりであるプラーク(歯垢)が多少付着しています。丁寧に歯ブラシとデンタルフロスをしましょう。
	歯肉炎軽度炎症(GO)	歯肉(歯ぐき)に軽度の炎症があります。丁寧に歯ブラシとデンタルフロスをしましょう。口呼吸をしている場合、お口を閉じるようにしましょう。

下記の○印は疾病異常の疑いがあります。速やかにかかりつけ歯科医にみてもらい、受診報告書を学校へ提出してください。

該当○印	注意事項	説明			
	う歯(むし歯) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>永久歯</td> <td rowspan="2">むし歯は治療を受けない限り治りません。適切な治療を受けて、治ったら再発しないようにおやつや食べ方やジュースの飲み方に注意し、丁寧に歯ブラシやデンタルフロスをするようにしましょう。</td> </tr> <tr> <td>乳歯</td> </tr> </table>	永久歯	むし歯は治療を受けない限り治りません。適切な治療を受けて、治ったら再発しないようにおやつや食べ方やジュースの飲み方に注意し、丁寧に歯ブラシやデンタルフロスをするようにしましょう。	乳歯	
永久歯	むし歯は治療を受けない限り治りません。適切な治療を受けて、治ったら再発しないようにおやつや食べ方やジュースの飲み方に注意し、丁寧に歯ブラシやデンタルフロスをするようにしましょう。				
乳歯					
	要観察歯(GO)	むし歯の一手手前の状態の歯があります。おやつや食べ方やジュースの飲み方を見直し、歯ブラシおよびデンタルフロスでよく清掃しましょう。			
	要注意乳歯	乳歯(子どもの歯)から永久歯(大人の歯)に生え代わる時期に、永久歯の出る場所にまだ乳歯が残っていると、永久歯が出るのに邪魔になり歯並びが悪くなる場合があります。			
	歯列・咬合・顎関節の異常	歯並びの状態・かみ合わせ・顎関節の状態に異常があります。専門医とご相談ください。すでに受診済の場合や、ご家庭で経過観察中の場合はその旨ご連絡ください。			
	歯垢付着(歯石)	歯みがきが不十分です。プラーク(歯垢)が多く付着しています、そのまま放っておくと硬くなり、歯石になってしまいます。歯肉炎の原因となりますので、早めにかかりつけ歯科医で処置や指導をしてもらいましょう。ご家庭でも丁寧に歯ブラシとデンタルフロスをしましょう。			
	歯肉炎	歯肉(歯ぐき)に炎症があります。かかりつけ歯科医で処置や指導をしてもらいましょう。ご家庭でも丁寧に歯ブラシとデンタルフロスをしましょう。口呼吸をしている場合、お口を閉じるようにしましょう。			
	その他				

受診報告書（歯科）

年 組 番 氏名

保護者名

1. 診断結果

- ・う歯（むし歯）
- ・歯垢付着（歯石）
- ・要注意乳歯
- ・歯肉炎
- ・歯列・咬合・顎関節の異常
- ・その他

2. 治療について

- ・治療済
- ・要治療
- ・要経過観察
- ・矯正治療中または相談中
- ・その他（

歯科医師

又は保護者名

令和 年 月 日

広 報 部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事の [QRコード](#) をスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。（リンク切れはご容赦願います。）

今月の知っておきたいこと

▼歯科医師6名に行政処分 厚労省

WHITE CROSS (2023年2月13日)

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2599>

厚生労働省の医道審議会医道分科会は2月8日、医師・歯科医師の行政処分について発表した。

医師30名、歯科医師14名に対する行政処分について審議がなされた結果、医師18名、歯科医師6名に対する行政処分、および医師12名、歯科医師8名に対する行政指導（厳重注意）をする旨の答申がなされた。

歯科医師6名に対する行政処分の内容は、以下の通り。

- ・歯科医業停止3年：1件（覚せい剤取締法違反、大麻取締法違反1件）
- ・歯科医業停止4月：1件（道路交通法違反1件）
- ・歯科医業停止3月：1件（公然わいせつ1件）
- ・戒告：3件（道路交通法違反2件、傷害1件）

出典：[2023年2月8日医道審議会医道分科会議事要旨](#)（厚生労働省）

▼高橋英登先生が初当選 日歯会

長予備選挙

WHITE CROSS (2023年2月14日)

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2601>

2月14日、日本歯科医師会会長予備選挙の開票が行われ、高橋英登先生が当選した。

今回の選挙には、日本歯科医師連盟会長の高橋英登先生、日本歯科医師会副会長の柳川忠廣先生、日本歯科医

ニュースピックアップ

▼加藤厚労相、「5類」念頭に医療界と

意見交換

THE SANKEI NEWS 2023年2月7日

<https://www.sankei.com/article/20230207->

師会国際渉外委員会の小林慶太先生が立候補していた。

有効投票数は628票、得票数は高橋英登先生319票、柳川忠廣先生283票、小林慶太先生26票だった。

▼東京工科大、痛み止めの市販薬からミトコンドリアを介した新たな抗がん性作用機構を発見

TECH+ マイナビニュース(2023年2月8日)

<https://news.mynavi.jp/techplus/article/20230208-2586388/>

東京工科大学は、痛み止めの市販薬「セレコキシブ」におけるミトコンドリアを介した新たな抗がん性の作用機構を発見したことを発表した。

同成果は、同大 大学院バイオ・情報メディア研究科の丸山竜人助教、杉山友康教授らの研究グループによるもの。詳細は、2023年1月24日付で独実験臨床薬学毒物学会の学術誌「*Naunyn-Schmiedeberg's Archives of Pharmacology*」（オンライン版）に掲載された。

ロキソニンやアセトアミノフェンと共に代表的な痛み止め市販薬として知られているセレコキシブは、シクロオキシゲナーゼ(COX-2)を選択的に阻害する非ステロイド抗炎症薬(NSAIDs)であり、近年、抗がん作用を有することから注目されるようになってきているが、その分子機構についてはよく分かっていなかったという。

[5BZ5MFC27JM3ZA3DUWYUJC6B6A/](https://www.sankei.com/article/20230207-5BZ5MFC27JM3ZA3DUWYUJC6B6A/)

加藤勝信厚生労働相は7日夜、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを5月8日に「5類」に引き下げた後の医療提供体制のあり方をめぐり、日本医師会や日本病院会などの医療関係団体と意見交換を行った。政府

は3月上旬に、高齢者施設への医療支援や重症患者に対する入院調整などの具体的な方針を示す。

◎新型コロナウイルス感染の疑いがある患者の診察は現在、発熱外来などに限られています。5類になれば原則全ての一般医療機関で受診できるようになり、保健所などによる入院調整の仕組みも医療機関同士のやり取りが基本となります。今後、我々歯科医師の新型コロナウイルス感染症への対応も、変わっていくかもしれません。

▼「マウスピース矯正」患者が集団提訴、健康被害の訴え続出「実質0円」で拡大、多額ローン抱えたまま診療所が突如閉鎖



47NEWS 2023年1月29日

<https://nordot.app/991193324636913664?c=39546741839462401>

若い世代を中心に広がっている「マウスピース矯正」を手がける医療法人「デンタルオフィスX（エックス）」は、宣伝に協力すれば治療費が実質無料になるとうたって患者を勧誘し、患者との間で金銭トラブルが相次いでいる。そして、これらの患者のうち約150人が、医師や運営会社幹部らを相手に総額約2億円の損害賠償を求める集団訴訟を起こした。

◎原告側代理人を務める加藤弁護士は「デンタルオフィスXの運営会社であるTHE GRANSIELD（ザ・グランシールド）は同歯科診療所の事業運営が早晚、自転車操業の状態に陥るのは分かっていたはずで、詐欺的な商法だ」と指摘しています。

▼医療機関へのサイバー攻撃、どう防ぐ？「対策に100%はない」…バックアップ多重化、障害時は紙カルテ想定 専門人材不足も悩み 鹿児島



南日本新聞 2023年2月4日

<https://373news.com/news/storyid/170141/>

全国で医療機関を狙ったサイバー攻撃が頻発し、鹿児島県内の関係者は警戒を強めている。地域医療の中核を担う公立病院は、医療情報システムの委託業者に注意喚起したり、最新のウイルス対策ソフトを導入したりするなどセキュリティ対策を再確認。被害リスクの軽減を図るが、専門性の高さなどから業者に依存せざるを得ないのが現状で、対応に苦心している。

◎大規模な病院でもコスト的に病院に専門人材を配置するのは難しいそうです。個人経営の小規模開業医はサイバー攻撃があった場合は対処するのは困難でしょう。

▼パソナがワクチン接種業務で過大請求、再委託先が人員水増し…10.8億円を全額返還へ



yomiDr. 2023年2月11日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230211-0YT1T50127/?catname=news-kaisetsu_news

人材派遣大手のパソナ（東京）は10日、大阪府の枚方市と吹田市、兵庫県西宮市から委託を受けた新型コロナ

ウイルスのワクチン接種に関するコールセンター業務を巡り、3市に計10億8000万円を過大請求していたと発表した。

◎新型コロナウイルス感染症に対する対策は、迅速にかつ多数の人を相手にする業務が多く、大変だと思いますが、今後はその対策の不備をついたような問題が多数判明してくるのかもしれない。

▼コロナ休校時の生活習慣が学校再開後も影響 小中学生対象の縦断調査



yomiDr. 2023年2月11日

<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230207-0YTET50017/?catname=medical-tribune>

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミック初期には、国内外の教育機関において流行防止対策の一環として一斉臨時休校措置が実施された。東京大学未来ビジョン研究センターの杉本南氏らは、小中学生を対象に学校再開直後（2020年6月）と学校再開後（同年7月～21年2月）に縦断調査を実施。

◎調査では、「学校に通うことが小児の睡眠習慣、特に起床時刻に大きく影響し、COVID-19流行による臨時休校下では、特に、起床・朝食の時間的パターンが著しく遅くなっていた小児ほど影響が大きかった」と結論づけています。

▼介護事業者の収支悪化 人手不足による人件費増が要因 厚労省



NHK NEWS WEB 2023年2月1日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230201/k10013967111000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_006

介護サービスを提供する事業者の経営は、人手不足を背景に人件費が増加していることなどが原因で、収支が悪化していることが厚生労働省の調査でわかりました。

◎介護事業者は、人件費の高騰により、経営状況が悪化しており、昨年の倒産件数は過去最多を記録したようです。厚生労働省は介護事業者の収支の状況を踏まえ、令和6年度に介護報酬の改定が行われるようです。歯科においても人件費の高騰により、経営が厳しくなっていると思われます。

▼BCGが1型糖尿病の予防に寄与



時事メディカル 2023年2月2日

<https://medical.jiji.com/news/55947>

米・Massachusetts General Hospital

(MGH) / Harvard Medical School の Hans F. Dias 氏は、米国の大規模患者データセットなどを解析した結果、BCGが1型糖尿病の発症予防に関与している可能性が確認されたと PLoS One (2023; 18: e0276423) に発表した。

◎作用機序は直接関係なさそうですが、疫学調査から分かったようです。確実に予防できるようになることに期待しましょう。

▼肥満とアルツハイマーで脳萎縮パターン類似

時事メディカル 2023年1月26日

<https://medical.jiji.com/news/55845>



最近、成人期の肥満が脳萎縮や認知機能低下に関連することが報告されているが、これまで肥満者とアルツハイマー病（AD）患者の脳萎縮パターンを直接比較した研究はなかった。カナダ・McGill University の Filip Morys 氏らは、大規模縦断研究 2 件・1,300 例超のデータを用いて、肥満者と AD 患者の脳地図を直接比較。

◎今回の報告では肥満＝アルツハイマー型認知症というわけではないようですが、肥満気味の人は今すぐ食生活を見直した方が良さそうです。

▼新肥満薬、相次ぎ承認へ 30 年ぶり 治療選択肢が拡大

THE SANKEI NEWS 2023年2月7日

<https://www.sankei.com/article/20230207-S70FSV4A65PMVDGLY3A5CF2CQQ/>



デンマークの製薬会社、ノボノルディスクの日本法人が申請していた肥満症の患者に投与する新しいタイプの注射薬「ウゴービ」について、厚生労働省の専門部会は 7 日までに製造販売を了承した。近く正式に承認する。

◎ウゴービは中枢神経に働きかけて食欲を抑える働きがあるとされ、投与の対象は高血圧や脂質異常症、2 型糖尿病を併発していて食事、運動療法をしても十分に改善がしなかった人となる予定とのことです。

▼岡山大学病院、「病床確保料」過大 受給で県が立ち入り検査…少なくとも約 19 億円

yomiDr. 2023年2月12日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230211-OYT1T50076/?catname=news-kaisetsu_news



岡山大学病院（岡山市北区）が、新型コロナウイルス患者向けの病床を確保した医療機関に交付される国の交付金「病床確保料」を過大に受給していた問題で、県は 10 日、同病院に立ち入り検査を行った。

◎同病院によると、2021年1月以降、少なくとも約 19 億円を過大に受給していました。担当者が基準を誤認し、日額約 7 万円とすべきところ、より高度な病床に適用される約 21 万円で請求していたことが同病院の自主点検により判明したそうです。

▼臓器あっせん、別の日本人患者も死亡…ベラルーシで肝臓・腎臓を同時移植

yomiDr. 2023年2月11日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230210-OYT1T50335/?catname=news-kaisetsu_news



NPO 法人「難病患者支援の会」（東京）による臓器あっせん事件で、NPO が昨年ベラルーシに案内した日本人患者 3 人のうち、肝臓と腎臓の同時移植を受けた会社社員の男性（当時 45 歳）も手術後に死亡していたことが捜査関係者への取材でわかった。

◎臓器移植以外に根本的な治療方法のない病気の場合、日本国内で不可能であれば海外での移植に望みを託すのだと思いますが、リスクも含めてまずは正しい情報を得ることが大切だと考えます。

▼高1の男子生徒が、カフェインを過剰服薬して救急搬送…オーバードーズを重ねる子どもに、大人がすべきことは？

yomiDr. 2023年2月10日

<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20221205-OYTET50038/>



かぜ薬やせき止めなどをドラッグストアや通販で購入し、オーバードーズ（過量服薬）に至る若者が最近増えています。病院から処方された薬ではない、身近な医薬品が使い方次第で生命に影響を与える危険性があるので注意したいものです。

◎コロナ禍による対人関係の変化によって、悩みを抱えた若者がさらに孤立感を深め、オーバードーズに至るリスクが高まっているようです。大人が子どもたちの気持ちを察知する心の感度を上げることが必要とのことです。

【公式】広島市歯科医師会広報チャンネル

ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。



1月4日放送分

「歯並びとかみ合わせ」

広島市歯科医師会 本川雅英氏

<https://youtu.be/uKrJoDMnQDA>

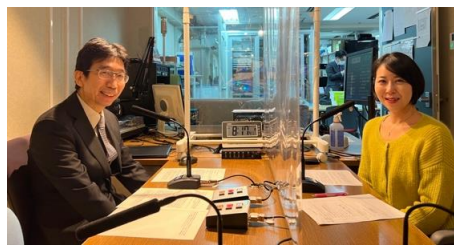


1月18日放送分

「酸蝕症について」

広島市歯科医師会 田中尊治氏

<https://youtu.be/O-G7JmKqcgM>





FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

3月1日放送分

「歯周病と糖尿病の関係」

広島市歯科医師会 江盛顕司氏

お口の病気である歯周病と、血糖値が高くなる糖尿病の二つは、一見関係のない病気のようにですが、実は深い関係があります。歯周病を治療すれば糖尿病の改善が期待できます。広島市歯科医師会の歯科医師、江盛顕司さんが話します。

3月15日放送分

「虫歯にならないために」

広島市歯科医師会 大塚道征氏

虫歯にならないためには、虫歯になりやすい場所に注意する必要があります。一つ目は、歯と歯の間。二つ目は歯と歯茎の境目。そして三つ目は奥歯がかみ合う溝の部分です。また、歯ブラシだけでは60%程度しか汚れを除去できません。そのため、歯間ブラシやデンタルフロスなどの補助清掃用具も併用しましょう。広島市歯科医師会の歯科医師、大塚道征さんが話します。

広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント
友達募集中！



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

今までの配信内容

- 1月26日配信 広島県より「令和4年度広島県原油価格・物価高騰に係る医療事業者補助金」が支給になります(要申請)
- 1月31日配信 医療機能情報提供制度に係る令和4年度の定期報告をお願いします

新規登録時に 管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。

日本歯科医師会会長予備選挙の開票が終わり、高橋英登先生が過半数を獲得され当選されました。

これまで繰り返し述べてきたように、今回の選挙は、「政治力が日歯にも必要で、物言う歯科医師会」が「政治力で診療報酬をアップし歯科医師を豊かにする」(高橋先生)のが最優先課題なのか、「日歯は公益社団として、連盟とは役割を峻別しながら堀会長が進められた国民の信頼回復の道をさらに進める」(柳川先生)ことが最優先なのかの選択選挙であり、歯科医師会組織のあり方の根底が論点となった極めて重要な選挙でした。

その結果、前者を訴えた高橋先生が、有効投票の50.8%、後者を訴えた柳川先生が、有効投票の45.1%を獲得され、全国の歯科医師会役員や役員を歴任された見識深い634人の代議員・選挙人の先生方が、組織として前者を選択したことになります。もう一人の立候補者、小林慶太先生は、有効投票の4.1%を獲得されました。

私達広島市歯科医師会理事会は、歯科医師会は「国民・県民に信頼される品位と威厳のある」組織であるべきだという考え方を、柳川先生の支持を通じて発信できたことは本当に良かったと考えています。

我々と同じ考えを持つ方も多

くいらっしゃいましたが、選挙は終わりましたのでよほどのことが無い限り、日本歯科医師会は今後、政治力をつけた物言う歯科医師会へと舵を切っていくことになります。

その行く末は、私達を含めすべての会員が受け入れることとなります。民主主義とはそういうものです。

さて、「選挙は終わったのだからノーサイドで、遺恨を残さず力を合わせて」という思いをお持ちの方が多いと思います。全くそのとおりです。しかし、こういうときにこそ、インテリゲンチャたる私達は、この選挙結果から「具体的にどのように」遺恨を残さずノーサイドで次のステップに踏み出すのか、を考えなければならぬと思っています。新執行部の手腕を見守りたいと思います。

今回の選挙にはもう一つの側面がありました。

歴代の日本歯科医師会会長は、東京歯科、日本歯科、日大、大阪歯科、九州歯科、東京医科歯科の所謂「旧6校」のうち、東京歯科、日本歯科、日大、大阪歯科の4校だけで占められています。120年の歴史において、29校ある歯科大学のたった4校で会長を輩出してきたのです。

今回は、この慣例が破られるかどうかという側面もありました。

会長コラム (第44回)

柔しく剛く

日本歯科医師会会長予備選挙の結果を受けて

熊谷 宏

ちなみに医師の世界はどうかというと、たしかに学閥はありますが、それはアカデミア(大学)におけるものです。大学医学部における学閥ヒエラルキーは厳然と存在しています。旧帝大—私立御三家—旧制医科大—新制八医科大—旧設医科大—新設医科大—21世紀新設医科大と言った具合です。

しかし、医師会には学閥はありません。今の日医会長は浜松医大、前の会長は札幌医大と両方とも新設医科大出身です。

こういう側面が、今回の選挙結果に影響したとは思いませんし思いたくもありませんが、日歯会長として相応しい方が会長に就任され、その方が結果旧6校以外であった、という時代が、29校も歯科大学(歯学部)があるなかで近未来に訪れないことは不自然であるように思います。

今はただ、日本歯科医師会の将来に幸あれと祈るばかりです。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2023年2月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2023年2月1日～2月28日)

世界・日本での経過	2023年	広島市歯科医師会での対応
中国 韓国からの入国者対象に水際対策を強化へ 対抗措置強化か 国内累計感染者数 32,610,608人 世界累計感染者数 671,017,028人	2月1日	
東京都 コロナ医療提供警戒レベル 最も深刻から1段引き下げ	2月2日	
「田辺三菱製薬」新型コロナワクチン事業から撤退を発表	2月3日	
米CDC発表 新型コロナ 新規感染者の6割余が「XBB.1.5」	2月4日	
政府公表 オミクロン株対応ワクチン 国内接種率42.3%	2月6日	
政府「内閣感染症危機管理統括庁」設置への改正法案を閣議決定	2月7日	
厚労省専門家部会 新型コロナワクチン接種 秋から冬に次の接種 基本方針まとまる	2月8日	
新型コロナ 5類移行後の感染動向「定点把握」具体的方法決まる	2月9日	
マスク着用 「来月13日からは個人の判断で」政府が決定 国内累計感染者数 32,926,515人 世界累計感染者数 672,542,863人	2月10日	
米CDC推計 新型コロナ「XBB.1.5」新規感染者の7割余に	2月11日	
全国知事会長 マスク着用「全部 個人の判断と言われても困る」と指摘	2月13日	
東京都 マスク着用 ラッシュの電車やバスに乗る場合は推奨へ	2月14日	
東京大学などの研究グループ発表 新型コロナ「XBB.1.5」に飲み薬の効果確認	2月15日	
	2月18日	三役会 会員相談対応抗原検査キット配布
厚労省 新型コロナワクチン“来年3月まで無料接種継続”で調整 国内累計感染者数 33,115,200人 世界累計感染者数 674,044,195人	2月20日	
厚労相 マスク着用以外の対策見直しも検討 アクリル板設置など	2月21日	
厚労省分科会 ワクチン無料接種継続 高齢者ら年2回の方針了承	2月22日	コロナ感染対策特別委員会 定例理事会
新型コロナ「ゾコーバ」服用で半年後の後遺症リスク半減	2月23日	
小売業界 マスク着用ガイドライン見直し 個人や事業者の判断に	2月25日	
雇用調整助成 新型コロナ特例措置が終了 4月から通常運用へ	2月27日	
オミクロン株対応ワクチン 5～11歳も対象 3月上旬から接種へ 国内累計感染者数 33,222,360人 世界累計感染者数 675,160,582人	2月28日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体 ※以前のは前号参照

2月定例理事会報告

「部外報告」

- 1月26日 歯科医師国保組合理事会
 1月31日 「CO・GOの保健指導マニュアルシート」及び「ティースキーパー『ネオ』」の寄贈における感謝状贈呈式
 2月1日 広島市歯科医療福祉対策協議会予算説明会
 2月3日 社会保険診療報酬支払基金再審査
 2月2日 (県歯)会員サポート室会議
 2月4日 (県歯)郡市長・専務理事合同会議
 " 【Web】(県歯)第42回新入会員研修会
 2月5日 【Web】令和4年度圏域地対協研修会
 2月7日 令和4年度「糖尿病重症化予防対策検討委員会」
 2月8日 【Web】令和4年度広島市保健所運営協議会
 2月9日 広島市国民健康保険事業の運営に関する協議会
 2月10日 【Web】広島市連合地区地域保健対策協議会「地域医療検討委員会」
 " 歯科医師国保組合理事会
 2月14日 (日歯)会長予備選挙開票
 2月16日 【Web】広島県歯科審査連絡協議会
 " 広島県国保連合会歯科再審査部会
 2月16-21日 広島県国保連合会歯科審査部会
 2月18日 広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
 " 広島市歯科医療福祉対策協議会総会
 2月21-26日 社会保険診療報酬支払基金審査

「連盟関係」

- 1月26日 林大蔵選対会議
 2月18日 広島県歯科口腔保健推進議員連盟(歯科議連)発会式
 2月21日 ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会

「総務関係」

- 1月28日 東区支部新年会
 1月30日 本会会長予備選挙当選証書授与
 2月8日 (日歯)会長予備選挙投票・立会
 2月15日 第6回支部長・副支部長会
 2月18日 三役会
 2月22日 コロナ感染対策特別委員会
 " 定例理事会

「慶弔関係」

- 1月19日 南区支部 内田雄士先生ご尊父様ご逝去

「入会退会関係」

- 1月30日 入会前面談(高木尚美先生)
 2月13日 南区支部 星野静雄先生任意退会

「(県歯)理事会関係」

- 2月2日 (県歯)理事会

(1) 総務部 (森本理事)

- 1月30日 入会前面談(高木尚美先生)
 2月1日 休診レセプト点検
 2月3日 社会保険診療報酬支払基金再審査
 2月8日 定例委員会
 2月9日 (県歯)保険部常任委員会
 2月16日 (県歯)STUDIO HPDA 各部向け操作説明会
 2月18日 広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
 " 広島市歯科医療福祉対策協議会総会

(2) 学術部 (花岡理事)

- 2月1-28日 ホワイトクロス社配信 Web セミナー
 2月3日 定例委員会

(3) 厚生部 (谷理事)

- 2月7日 定例委員会

(4) 地域歯科保健部

- 1月27日 定例委員会
 1月31日 「CO・GOの保健指導マニュアルシート」及び「ティースキーパー『ネオ』」の寄贈における感謝状贈呈式
 2月17日 定例委員会
 2月18日 広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
 " 広島市歯科医療福祉対策協議会総会

<地域保健> (若林理事)

- 1月28日 【Web】江波圏域多職種連携会議
 2月7日 令和4年度「糖尿病重症化予防対策検討委員会」
 2月8日 (県歯)地域保健部常任委員会
 2月9日 中区介護認定審査会
 2月14日 広島市障害者差別解消支援地域協議会
 2月16日 STUDIO HPDA 操作説明会
 " 中区介護認定審査会

<地域連携> (藤田理事)

- 1月26日 西区介護認定審査会
 2月2日 西区介護認定審査会
 2月9日 西区介護認定審査会
 2月10日 広島市在宅医療・介護連携推進委員会「摂食嚥下・口腔ケア対応力向上に向けた多職種連携の体制づくりの検討」専門委員会
 摂食嚥下・口腔ケア対応力向上パンフレット「TSS ライク！」取材
 2月16日 西区介護認定審査会
 " 令和4年度広島市西区医療・介護連携事例検討会

<学校保健> (石田理事)

(5) 広報部 (水内理事)

- 1月31日 「CO・GOの保健指導マニュアルシート」及び「ティースキーパー『ネオ』」の寄贈における感謝状贈呈式
 2月3日 校正委員会(だより2月号)

- 2月 9日 FMちゅーピー収録
- 2月10日 【Web】校正委員会(太田川)
- 2月16日 【Web】情報調査委員会
- 2月18日 広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
- ” 広島市歯科医療福祉対策協議会総会

FMちゅーピー (放送日)

- 3月 1日 「歯周病と糖尿病の関係について」
広島市歯科医師会 江盛頭司氏
- 3月15日 「むし歯にならないためには」
広島市歯科医師会 大塚道征氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
 一般サイト 訪問者 1,711 (累計 121,898)
 ページビュー 9,798 (累計 1,454,094)
 会員サイト 訪問者 197 (累計 28,913)
 ページビュー 948 (累計 281,802)
 広報部 … Talking Heads<最新情報>
 掲載件数 105 件 (1/21~2/20)
 LINE 公式アカウント 登録者数
 2月16日 122 名

(7) 特別委員会(選挙管理委員会)

2月22日 コロナ感染対策特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

- 2月 9日 相談 セカンドオピニオンの診断結果の相違について(男性)
- 2月14日 相談 区役所の対応について(会員より)

「協議事項」

- (1) 入会について (3名)
南区支部の高木尚美氏の入会について承認、中区支部1名、西区支部1名継続審議中
- (2) 会費について (2名)
診療状況変更による会費変更1名承認、終身会員資格取得による会費額変更について1名承認
- (3) 太田川について
送付先について継続審議
- (4) 令和5年度事業計画案・予算案について
協議、継続審議
- (5) 会館使用料金額改定について
改正料金表報告
- (6) その他

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局
 広報部担当理事 水内裕之

E-Mail: hirosshima@dentalpark.net
 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは**毎月 25 日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

